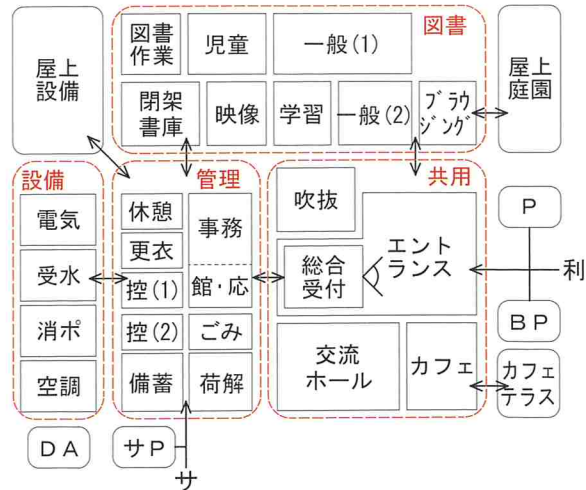


# 直前対策課題 1

## 計画のポイント

- ・第二種中高層住居専用地域 → 建蔽率80%  
道路斜線勾配1.25  
北側斜線勾配1.25+10m
- ・建築物→地下1階+地上3階建て
- ・吹抜け：適切な位置、トップライト
- ・交流ホール：設置階、図書部門とのゾーニング、防音、構造
- ・設備スペース：設置階、規模
- ・建築可能範囲、ボリュームの想定（ピロティ、駐車場）

## 機能図

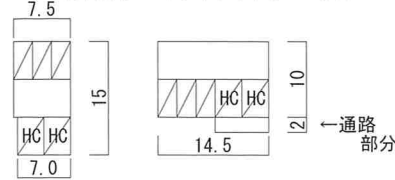


## 建築可能ボリューム

### 【屋外条件】

#### ■ 駐車場

- ・来館者用5台(車椅子2台) ・サービス用：1台



#### ■ 駐輪場

- ・来館者用20台



#### ■ 屋上庭園 (2F or 3F)

- ・100㎡以上 ※底や屋根を除く



#### ■ カフェテラス

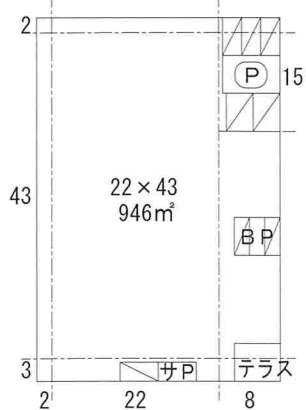
- ・30㎡以上



### 【可能範囲】

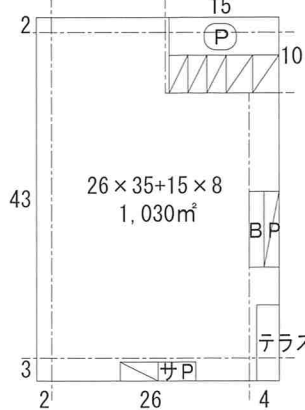
- 建蔽率と屋外条件を考慮 (80%→1,228.8㎡)

#### パターンA



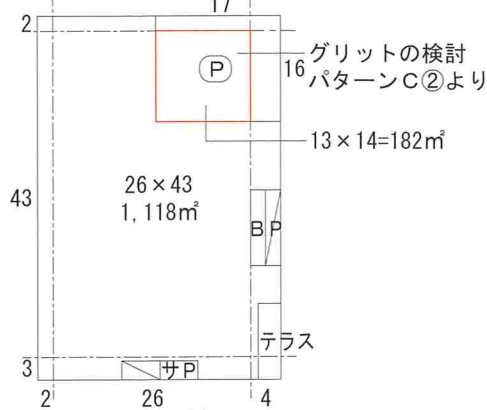
1F : 946  
2F : 946 - 100 = 846  
3F : 946 - 100 - 100 = 746  
B1F : 300  
合計 : 2,838㎡ → 不足

#### パターンB



1F : 1,030  
2F : 1,030 - 100 = 930  
3F : 1,030 - 100 - 100 = 830  
B1F : 300  
合計 : 3,090㎡ → 下限値

#### パターンC① (利Pピロティ)



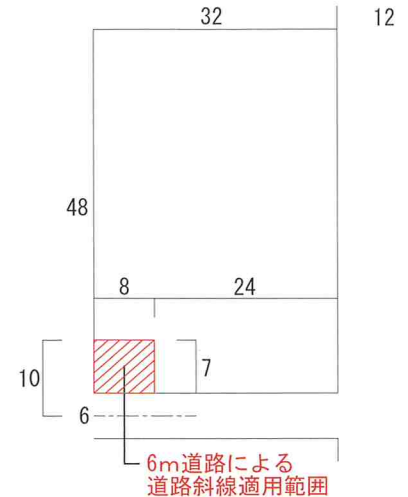
1F : 1,118 - 182 = 936  
2F : 1,118 - 100 = 1,018  
3F : 1,118 - 100 - 100 = 918  
B1F : 300  
合計 : 3,172㎡ → 上限値

### 【係数の確認】

(床面積 3,000~3,400㎡) A (3,000 ÷ 2,195 ≒ 1.36)  
(要求室の合計 2,195㎡) B (3,400 ÷ 2,195 ≒ 1.54)

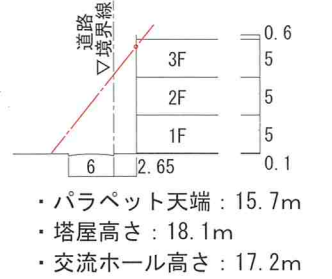
(ピロティPを除く) C (2,818 ÷ 2,195 ≒ 1.28)  
(3,218 ÷ 2,195 ≒ 1.46)

## ■ 斜線の検討



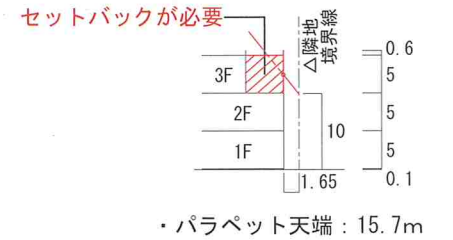
## ■ 道路斜線

アキ3m : (2.65+6+2.65) × 1.25 = 14.125m → NG  
アキ4m : (3.65+6+3.65) × 1.25 = 16.625m  
→ 塔屋・交流ホールがなければOK



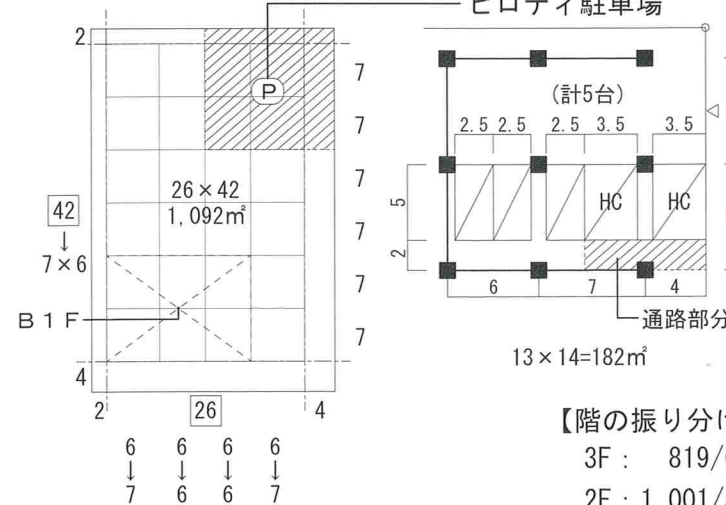
## ■ 北側斜線

アキ2m : 10+1.65 × 1.25 = 12.0625m



## グリッドの検討

### パターンC②



調整前...6×4 = 24 ...余り2m  
調整後...6×2 + 7×2 = 26

### 【全体ボリューム】

3F	交ホ	吹	屋上	1,092-91-182 = 819
2F				1,092-91 = 1,001
1F				1,092-182 = 910
B1F				19×14 = 266
備蓄倉庫と設備スペース				2,996

→ 交流ホールと屋上庭園を2階以下で計画すると計画可能ボリュームが減っていく

### 【階の振り分け】

調整後・学習室、映像：3F→2F  
3F : 819/690 ≒ 1.18 → 819/540 ≒ 1.51  
2F : 1,001/565 ≒ 1.77 → 1,001/715 ≒ 1.40  
1F : 910/710 ≒ 1.28 → 1Fはコンパナ計画が求められる  
B1F : 266/230 ≒ 1.15

## ゾーニング

